



第59回
日本理学療法学会大会

—— 第10回 ——

日本呼吸理学療法学会 学術大会

プログラム

呼吸理学療法の新たな展開

— The first step toward the next decade —

2024年

9月7日(土) 8日(日)

会 場

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

新潟市中央区万代島6-1

学術大会長

瀬崎 学 (済生会新潟県央基幹病院)

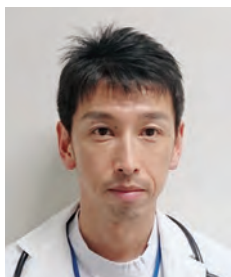
副学術大会長

堀江 淳 (京都橋大学)



日本呼吸理学療法学会

大会長挨拶



第10回日本呼吸理学療法学会学術大会
学術大会長 瀬崎 学
(済生会新潟県中央基幹病院)

このたび、第10回日本呼吸理学療法学会学術大会を2024年9月7日（土）と8日（日）の二日間、新潟市において開催させていただきます。今回の学術大会のテーマは「呼吸理学療法の新たな展開：—The first step toward the next decade—」とさせていただきます。

呼吸理学療法が本邦で行われるようになったのは1950～1960年代、当初増加する肺結核そして肺結核後遺症の症例を中心とした介入の必要性があったためと言われています。それから半世紀を過ぎ、呼吸理学療法は当初の肺結核後遺症や慢性閉塞性肺疾患・間質性肺疾患といった慢性呼吸器疾患に対するのみではなく、肺がん・食道がん等に代表される外科周術期症例、そして集中治療領域での人工呼吸器管理症例など、その対象疾患および治療領域に関して以前からは想像もできないような進捗を遂げてきました。その折、2019年12月中国河北省武漢にて報告されたのち世界的パンデミックとなった新型コロナウイルス感染症の爆発的増加とそれに伴う急性・重症呼吸不全症例の発生に際しては、感染症対策や人工呼吸器・人工心肺管理中での腹臥位療法や早期離床の実施など従前の本邦における呼吸理学療法から更に数歩前進した取り組みが各地で実践報告されており、臨床における確実の進歩を感じ心強く思う所です。

このように翻ってみると、本邦における呼吸理学療法は内的・外的な要因の影響を多々受けながらもその歩みを止めず、現在までに至っています。第10回の節目となる当学術大会ではこれまでの呼吸理学療法のあゆみを総括し、これからの10年に向かい我々呼吸を専門とする理学療法士が何を考え・何を学び・何をすべきなのか、全国から集う皆様と共に考え大いに語り合いたいと思います。今回も日本呼吸理学療法学会理事のお力添えを得ながら、当会専門会員や評議員そして一般会員の皆様にも積極的に御参加頂き、魅力あるシンポジウムや講演を企画するよう準備を進めています。また、我々理学療法士のアイデンティティでもある「臨床・教育・研究」の三分野の学びを得られるようなセッション構成も考えております。一般演題においては例年通りその中からセクション演題を選出し、優秀演題を決定します。会員の皆様には研究報告にとどまらず、症例報告から臨床でのアイデア、新しい取り組み、問題提起等々広く募集いたしますので、奮ってご応募頂きたいと思います。

雪国新潟とはいえ9月初旬は天候にも恵まれる時期で、季節柄最も過ごしやすい時期でもあります。そして会場となる朱鷺メッセは信濃川と日本海を一望できる眺望も備えています。感染状況にもよりますが可能であれば是非会場で皆様とお会いし、これからの呼吸理学療法に関しての知見を深めることができればと望んでおります。準備委員一同、多くの皆様の御参加・御来場を心よりお待ちしております。

令和 6 年 6 月吉日

施設長 病院長 様

一般社団法人 日本呼吸理学療法学会
理 事 長 玉 木 彰



第 10 回日本呼吸理学療法学会学術大会
大 会 長 瀬崎学



第 10 回日本呼吸理学療法学会学術大会

出張のお願いについて

謹啓 貴施設におかれましては益々ご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。平素は日本呼吸理学療法学会の運営に際しまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度下記により第 10 回日本呼吸理学療法学会学術大会を開催することとなりました。つきましては貴施設の_____氏の出張につきまして、各段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

日 時：2024 年 9 月 7 日（土）8：20 ～ 17:00（会場 8：00）

8 日（日）8：30 ～ 12:30（会場 8：00）

会 場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター（現地・web のハイブリッド開催*）

〒950-0078 新潟県新潟市万代島 6 - 1

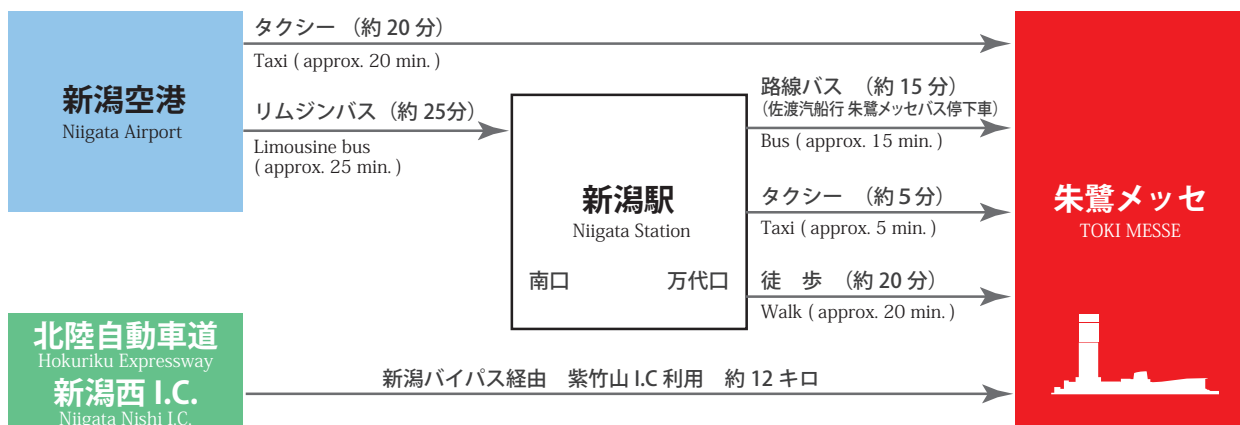
*講演の演者、シンポジスト、座長、一般演者の方にはご来場をお願いしております。

以上

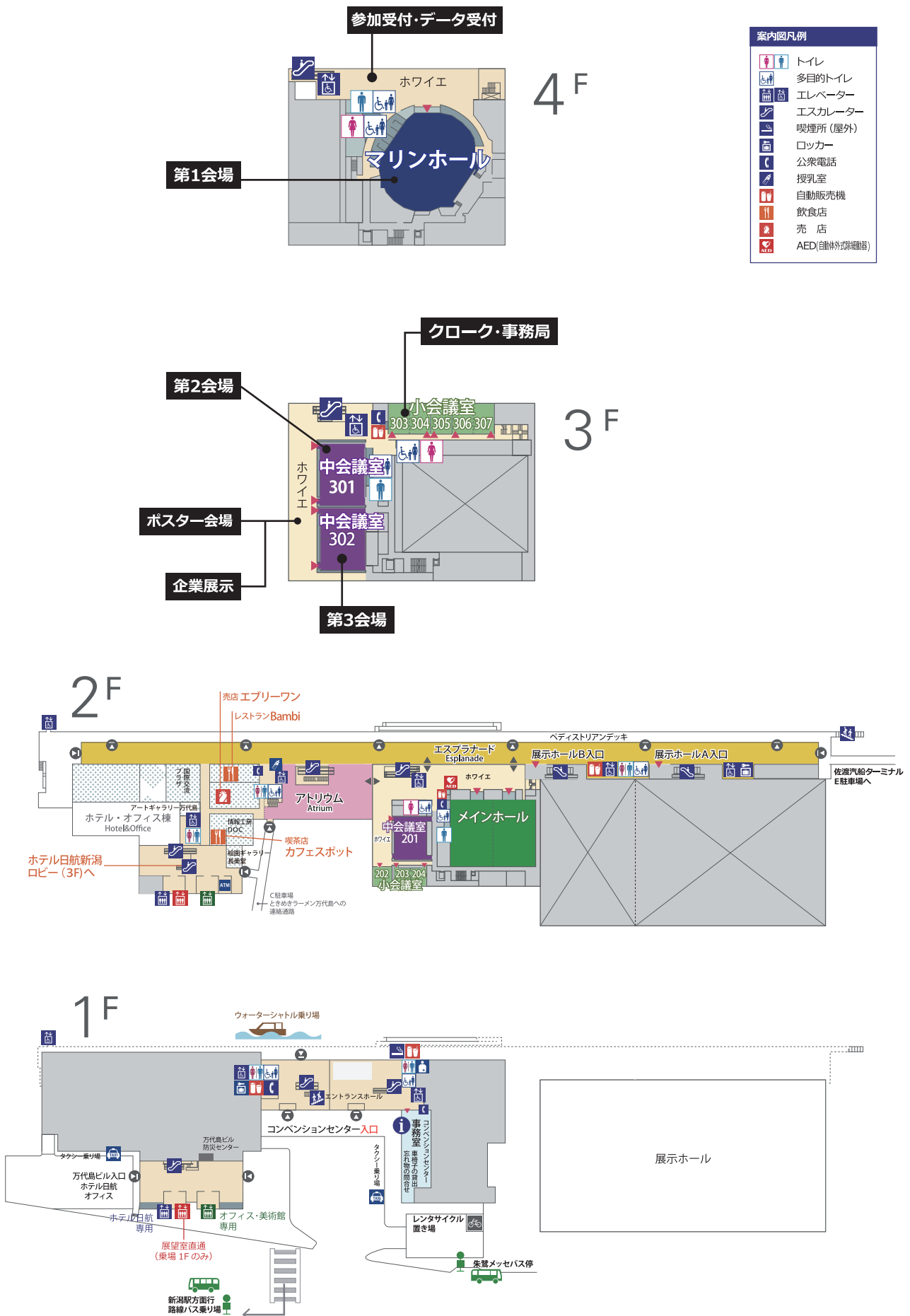
交通案内図



■朱鷺メッセへのアクセス Access to the TOKI MESSE



フロアマップ



日程表

1日目（9月7日（土））

		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
8時	00				
	10				
	20				
	30	開会式			
	40	大会長基調講演 私たちは何を成し遂げ、何処へ向かうのか 次の10年の展望 座長：堀江 淳 演者：瀬崎 学			
9時	50				
	00	学会シンポジウム 1 若手研究者への支援 どのように研究を進め・発表するか 座長：木村 雅彦 馬屋原康高	教育講演 1 COPD 座長：宮崎慎二郎 演者：村川 勇一	一般口述 1 在宅 O1-6 座長：阿波 邦彦 尾山 陽平	ポスター貼付
	10	シンポジスト：稲垣 武 對東 俊介 花田 匡利			
	20				
	30				
10時	40	JSRPTセッション 1 呼吸障害理学療法ガイドライン： 新たなエビデンスと改定第3版に向けた展望 座長：小川 智也 演者：神津 玲	教育講演 2 間質性肺疾患 座長：堀江 淳 演者：渡邊 文子	一般口述 2 COPD 1 O7-12 座長：江越正次朗 長谷川 信	ポスター 1 人工呼吸器管理 P1-6 座長：竹内 雅史 堅田 紘顕
	50				
	00				
	10				
	20				
11時	30	学会シンポジウム 2 呼吸理学療法における教育・管理・運営 座長：堀江 淳 守屋 正道	教育講演 3 周術期 座長：玉木 彰 演者：大島 洋平	一般口述 3 ILD O13-18 座長：森野 陽 秋保 光利	ポスター 2 COVID-19・ILD P7-12 座長：小澤 哲也 中村 可愛
	40	シンポジスト：田平 一行 岩田健太郎 高橋 祐介			
	50				
	00				
	10				
12時	20				
	30				
	40	協賛セミナー 1 ハイフローセラピーの現在地： 急性期から在宅まで 座長：椿 淳裕 演者：坂井 邦彦 協賛：帝人ヘルスケア株式会社	協賛セミナー 2 肺がん治療にリハビリによる愛の手を！ ～肺がん周術期新時代到来～ 座長：瀬崎 学 演者：三浦 理 協賛：中外製薬株式会社	協賛セミナー 3 呼吸筋疲労に対する換気補助の役割と 呼吸理学療法への応用 座長：高橋 祐介 演者：石光 雄太 協賛：フクダ電子株式会社 フクダライフテック株式会社	
	50				
	00				
13時	10				
	20				
	30				
	40				
	50				
14時	00	学会シンポジウム 3 呼吸理学療法の実践性2024 座長：小川 智也 俵 祐一	教育講演 4 症例報告の書き方 座長：沖 侑太郎 演者：山科 吉弘	一般口述 4 がん・外科周術期 O19-24 座長：濱崎 伸明 森山 武	ポスター 3 avant-garde P13-19 座長：中田 秀一 長谷川俊輔
	10	シンポジスト：久保 貴嗣 北村 憲一 井上順一郎 渡邊 寿彦			
	20				
	30				
	40				
15時	50				
	00				
	10		一般口述 5 サルコペニア O25-30 座長：柳田 頼英 松嶋 真哉	一般口述 6 肺炎・誤嚥性肺炎 O31-36 座長：岸川 典明 市川 毅	
	20				
	30				
16時	40	学会シンポジウム 4 サルコペニアをめぐる課題 座長：玉木 彰 川越 厚良	一般口述 7 排痰 O37-42 座長：三浦 利彦 野々山忠芳	一般口述 8 人工呼吸器管理 O43-48 座長：山下 康次 小幡 賢吾	ポスター 4 がん・外科周術期 P20-25 座長：福島 卓矢 木賀 洋
	50	シンポジスト：金崎 雅史 宮崎慎二郎 岡村 正嗣			
	00				
	10				
	20				
17時	30				
	40				
	50				
	00				
	10				

日程表

2日目（9月8日（日））

		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
8時	00				
	10				
	20				
	30				
	40	選考セッション 優秀演題セクション SO1-6 座長：沖 侑太郎 金崎 雅史	教育講演 5 終末期・ACP 座長：関川 清一 演者：中田 隆文	一般口述 9 COPD 2 O49-54 座長：伊藤 健一 今村 創	ポスター閲覧
9時	50	審査員：瀬崎 学 田平 一行 堀江 淳			
	00				
	10				
	20				
	30		教育講演 6 論文のコツ 座長：川越 厚良 演者：金子 秀雄		
10時	40				ポスター撤去
	50	JSRPTセッション 2 日本呼吸理学療法学会レジストリ事業 -活動報告と課題- 座長：木村 雅彦 演者：関川 清一		一般口述10 多職種連携 O55-60 座長：田代 尚範 平澤 純	
	00				
	10		教育講演 7 人工呼吸管理 座長：依 祐一 演者：笹沼 直樹		
	20				
11時	30	学会シンポジウム 5 pro-con 急性期・ICUにおける運動と休息を どのように考えるか？ 座長：神津 玲 沖 侑太郎 シンポジスト：及川 真人 飯田 有輝	教育講演 8 スライド作成のetc 座長：守屋 正道 演者：椿 淳裕		
	40				
	50				
	00				
	10				
12時	20	閉会式			
	30				
	40				
	50				
	00				
13時	10				
	20				
	30				
	40				
	50				
14時	00				
	10				
	20				
	30				
	40				
15時	50				
	00				
	10				
	20				
	30				
16時	40				
	50				
	00				
	10				
	20				
17時	30				
	40				
	50				
	00				
	10				

座長・演者へのご案内

口述演題（セレクション・一般口述）、ポスター演題座長・演者の皆様へ

■発表と質疑応答時間

口述形式	ポスター形式
発表時間 7分	発表時間 5分
質疑応答 3分	質疑応答 3分

■一般演題の座長へのお願い

●口述・ポスター共通事項

- ・参加受付を済ませた後、担当セッション開始時刻30分前までに、座長受付をお済ませください。座長受付は4F総合受付付近に設置いたします。
- ・担当セッションの進行は座長へ一任いたします。セッションごとの時間厳守にご協力ください。
- ・座長が2名選出されているセッションについては、セッション内の分担は座長2名へ一任いたします。不足の事態にて、座長1名の職務が遂行不可能となった場合には、代理は立てず、1名で座長の職務を務めていただきます。
- ・質疑の際は、所属・氏名を確認するようお願いいたします。

■口述演題の座長へのお願い

- ・セッション開始時刻10分前までに担当セッション会場内の「次座長席」にご着席ください。
- ・ご担当いただくセッションの進行につきましては、上記の時間配分をご確認いただき、時間内に終わっていただけるようお願いいたします。
- ・発表時間は、計時回線システム（タイマーでランプが点灯）で通知されます。発表終了時間となりましたら、速やかに質疑応答にお移りいただきますようお願いいたします。
 - ・質疑応答の発言者には、予めマイク付近で待機するよう注意を促してください。
 - ・座長席のPCのZoomのQ&Aをご覧いただき、オンライン参加者からの質問にもご対応ください。

■ポスター演題の座長へのお願い

- ・セッション開始時刻10分前までに担当セッションの会場付近にお越しください。運営側によるセッション開始と終了の案内はございません。セッション内での進行に関しましては座長に一任いたします。
- ・セッション開始までにポスターの貼り付けが行われていない、またはセッションの時間に演者が現れなかった場合は、セッション終了後に大会本部までご連絡ください。

一般演題の発表者へのお願い

■口述演題の発表者へのお願い

●利益相反（COI）の開示について

- ・発表スライドの2枚目（タイトルスライドの次）には、演題名、演者名および利益相反について開示してください。利益相反の開示に関する基準については、日本理学療法学会連合ホームページをご参照ください。開示するスライドの記入例はこちら（https://www.niicon.jp/jsrpt2024/_src/3107/coi_slide_sample.pdf?v=1724037702120）をご参照ください。

●スライドの受付について

- ・参加受付を済ませた後、発表セッション開始時刻30分前までに「データ受付」をお済ませください。「データ受付」は4F総合受付付近に設置いたします。データ受付時間は以下の通りです。
- ・2日目の演者は可能な限り1日目に「データ受付」をお済ませいただくようお願いいたします。

データ受付時間	9月7日(土) 8:30~16:00
	9月8日(日) 8:30~9:10

※2日目朝一番のセッションの方は前日にデータ受付をお済ませください。

- ・一般演題では、ご自身のパソコンの持ち込みはできません。
- ・パワーポイントスライドの大きさは「ワイド(16:9)」で作成ください。
- ・「データ受付」で、USBフラッシュメモリーにて発表データを提出してください。
- ・発表データのファイル名は「セッション名_演題番号_氏名」としてください。
*ファイル名の例:「一般口述1_在宅O1_テスト太郎」
- ・データ受付への提出時にスライド確認を行ってください。提出後に修正や変更作業を行うことはできません。
- ・学会のPCにコピーしたデータは、会期終了後に学会主催者側で責任を持って削除いたします。
- ・不測の事態に備えて、必ずバックアップデータをご持参ください。
- ・持ち込まれるUSBフラッシュメモリーは、必ず各自にてウイルスチェックを行ってご持参ください。
また、極力必要なデータのための保存としてください。
- ・当日会場で使用するPCのOSはWindows11です。
- ・データ持ち込みはPowerPoint 2016/2019で作成されたデータのみといたします。
- ・Macで作成された場合は、必ず上記環境で、動作確認済のデータをお持ちください。
- ・フォントは、OS標準のもののみ用いてください(MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝など)。
- ・一般演題では動画、音声の使用はできません。

■口述演題発表について

- ・参加受付を済ませた後、セッション開始時刻30分前までに、演者受付をお済ませください。演者受付は4F総合受付付近に設置いたします。
- ・セッション開始時刻10分前までに会場内の「次演者席」にご着席ください。
*セッション最初の発表者の方はセッション開始前に演台へご登壇ください。
- ・PowerPointの機能の中にある「発表者ツール」は使用できません。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトを持参してください。会場でのプリントアウトは対応しておりません。
- ・プレゼンテーションの操作は原則、演者に行っていただきます。
- ・スライドの枚数に制限はありませんが、発表時間を厳守するようにしてください。
- ・発表時間は超過しないようにお願いします。
- ・演者変更がある場合は発表時に自己申告してください。
- ・演台には、手元灯、ポインター、リモートプレゼンセットを準備しています。
- ・発表時間は、計時回線システム(タイマーでランプが点灯)で通知されます。終了の合図(ランプの点灯)がありましたら速やかにご発表を終え、質疑応答に備えてください。

ポスター演題の発表者へのお願い

■利益相反の開示について

- ・ポスター中に利益相反について開示してください。利益相反の開示に関する基準については、日本理学療法学会連合ホームページをご参照ください。開示する内容の記入例はこちら(https://www.niicon.jp/jsrpt2024/_src/3108/coi_slide_sample.pdf?v=1724037702120)をご参照の上、同等の内容をポスター中に文書にて掲載してください。

■ポスター演題発表について

- ・ポスター貼付時間内(9:00~9:50)にポスター会場(3Fホワイエ)で演者受付を済ませて、指定のパネルへポスターを貼付してください。
- ・各ポスターセッション開始時刻10分前までに各自ポスター前に待機し、座長の進行に従ってください。

■ポスター演題スケジュール

月日	時間	セッション名
9月7日(土)	9:00～9:50	ポスター貼付
	10:00～10:50	ポスター1 人工呼吸器管理 P1-6
	11:10～12:00	ポスター2 COVID-19・ILD P7-12
	14:00～15:00	ポスター3 avant-garde P13-19
	15:30～16:20	ポスター4 がん・外科周術期 P20-25
9月8日(日)	8:30～10:50	ポスター閲覧
	11:00～11:30	ポスター撤去

■ポスター規定

- ・ポスターパネルは縦210cm×横90cmです。右記ポスターサイズ、レイアウト図を参考にご準備ください。
- ・演題番号及び掲示用画鋏は学術大会主催側で用意します。粘着テープ等のご使用はご遠慮ください。
- ・ポスター作成に当たっては、個人情報（患者等）、著作権、肖像権などに特にご注意ください。※著作権などに関するトラブルにつきまして、大会運営側では責任を負いかねますので、発表前に再度ご確認いただきますようお願いいたします。
- ・ポスターの貼付スペースは、縦180cm×横90cmの範囲内とします。
- ・最上段に演題名、氏名、所属をご提示ください。演題番号は、事務局で準備いたします。
- ・指定の撤去時間以降に残っているポスターは、事務局にて処分させていただきます。あらかじめご了承ください。郵送等による返却はいたしません。



▲ポスターパネル姿図

【学術大会広報用写真撮影のお知らせ】

本学術大会では、会場内で主催者スタッフによる写真撮影を行う予定です。撮影した写真は、学術大会の広報活動（ホームページ、SNSなど）に使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

参加者へのご案内

- ・本学術大会の事前参加登録は大会ホームページ「参加登録」を確認の上、各自の責任で行ってください。
- ・日本理学療法士協会会員においては、当日の参加登録はJPTAアプリでのみ行います。その他での参加登録は一切受付できません。また、当日の参加受付もJPTAアプリでのみ行います。
- ・登壇者（座長・司会・演者）ならびに一般演題の発表者は、現地参加をお願いいたします。

■参加登録費

日本理学療法士協会 会員	事前参加登録	当日参加登録
本学会専門会員 A	8,000円	10,000円
一般会員／協会会員	10,000円	12,000円
日本理学療法士協会 非会員	事前参加登録	当日参加登録
非会員 理学療法士	25,000円	25,000円
非会員 他職種	10,000円	12,000円
学生（大学院生除く）	0円	参加登録不可

- *理学療法士免許を保有される方で協会会員でない場合は「非会員 理学療法士」となります。
- *理学療法士免許を保有される方は編入学部生・大学院生にかかわらず学生区分の扱いにはなりません。
- *学生の当日参加登録はありません。

■領収書

- ・日本理学療法士協会会員：
協会マイページよりご自身にてダウンロードを行ってください。
- ・非協会会員の方：
参加登録時のPayventより領収書のダウンロードを行ってください。また、Payventの領収データ以外の形式での領収書は発行できません。予めご了承ください。

■参加受付

現地参加

会 場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 3F・4F

日 時：9月7日（土）8：10～16：30

9月8日（日）8：10～11：00

【日本理学療法士協会：会員の方】

1. 来場前にJPTAアプリのインストールをお願いいたします。
 2. 参加者受付でQRコードを掲示します。各自のJPTAアプリで読み取り、受付を行ってください。読み取りの確認はご自身で行ってください。
 3. ネームプレートに記載後、ネックストラップをお取り頂きご入場下さい。会場内では必ずネームプレートを着用してください。
 4. QRコードの読込は会期中に1回のみで構いません。連日行う必要はございません。
- *JPTAカードでの参加受付は行いません。ご理解のほどよろしくお願い致します。
 - *QRコード読込による受付をされない場合は、参加ポイント（点数）取得ができませんので忘れずに受付を済ませてください。閉会後の申請は受付いたしかねます。



【日本理学療法士協会：会員以外の方】

1. 参加者受付でネームプレートを記載後、ネックストラップをお取り頂きご入場下さい。会場内では必ずネームプレートを着用してください。
2. 参加ポイントを取得するための特別な参加受付はございません。

オンライン参加

配信方法について

- ・本学術大会は、zoomウェビナーで3ホストを用いたLIVE配信を行います。視聴したい会場のzoomウェビナーにログインし、学術大会にご参加ください。
 - ・ログインするためのIDとパスワードは、会期1週間前を目途に日本理学療法士協会会員の方はマイページ登録メールアドレスに、非会員の方はお申し込みメールアドレスに送付いたします。メールが届かない場合は、学術大会事務局へメールでお問い合わせください。
- ※お問い合わせ前に迷惑メールフォルダや受信設定等も再度ご確認をお願いいたします。尚、学術大会終了後のオンデマンド配信は行いません。

参加受付

【日本理学療法士協会：会員の方】

1. 開催前にJPTAアプリのインストールをお願いいたします。
2. 会期中の講演の間にQRコードを掲示します。各自のJPTAアプリで読み取り、受付を行ってください。読み取りの確認はご自身で行ってください。
3. QRコードの読込は会期中に1回のみで構いません。連日行う必要はございません。

【日本理学療法士協会：会員以外の方】

- ・参加ポイントを取得するための特別な参加受付はございません。

入室方法

- ・当日は、zoomウェビナーを使用し配信を行います。各視聴のパソコン等にzoomアプリのインストールおよび起動確認をお願いいたします。視聴環境テストはこちら | <https://zoom.us/test>
※視聴時は運営側で参加者の画像と音声オフにするので、画面に映ることはありません。
- ・会場を移動される際には、一度zoomウェビナーよりサインアウトしていただき、改めて視聴したい会場のzoomウェビナーに入室してください。

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

注意事項

- 1) 複数端末から同時に視聴することや複数人での視聴は禁止いたします。
- 2) 通信環境や使用機器等による視聴トラブルには対応いたしかねます。予めご自身が視聴される通信環境や使用される機器を十分にご確認ください。
- 3) 申込者以外の参加を防ぐため、パスワードは外部に漏洩しないください。万が一、申込者以外の視聴が確認された場合は、事務局側で当該者の退出を行います。
- 4) 視聴中の録音・録画・撮影等は固く禁じます。
- 5) 各個人のWEBトラブル（視聴ができない、動画が止まってしまったなど）などの問い合わせには一切応じられません。また、そのような場合でも参加費の返金や振替対応はいたしかねます。視聴環境には十分にご注意ください。
6. zoomクライアントは最新版にアップデートして使用してください。

■協賛セミナー

- ・第1日目に協賛セミナーを予定しています。整理券制といたします。当日受付にて配布致します。弁当を用意しておりますが、数に限りがございます。あらかじめご了承ください。
 - ・各セミナーともに整理券がなくなり次第、配布を終了いたします。整理券の配布はお一人様につき1枚に限らせていただきます。
 - ・セミナーは整理券をお持ちの方より優先的に入場いただき、開始5分後に空席があった場合は、整理券をお持ちでない方でも入場可能となります。
- ※LIVE配信の予定はありません。

■参加証明書

- ・会場で配布されるネームプレートは参加証明書としては認められず、ネームプレートおよび領収書による関連資格の単位更新は認められない場合がありますのでご注意ください。

【日本理学療法士協会：会員の方】

1. 発行期間：2024年9月9日～9月27日
2. 発行方法：大会事務局よりメール＊にてお送り致します。協会マイページからは取得できません。
＊：協会マイページに登録しているメールアドレス宛てにお送りします。それ以外のメールアドレスへの送信は行いません。
3. 発行期限を過ぎての参加証明書の発行は出来ません。

【日本理学療法士協会：会員以外の方】

1. 発行期間：2024年9月9日～9月27日
2. 発行方法：参加費をお支払いしたPayventよりご自身にてダウンロードを行ってください。
3. 発行期限を過ぎての参加証明書の発行は出来ません。

■単位・ポイント（点数）の取得について

（公社）日本理学療法士協会生涯学習ポイントの単位取得について

（公社）日本理学療法士協会生涯学習ポイント（点数）が取得できます。

- ・①学術大会（学会参加） 12ポイント（点）；登録理学療法士更新ポイント、認定／専門理学療法士更新点数として
- ・②学術大会での一般発表（筆頭演者のみ）、講師、シンポジスト 20点：認定／専門理学療法士更新点数として
- ・③学術大会での座長 10点：認定／専門理学療法士更新点数として

※座長・演題登録者も事前参加登録が必要です。

※発表者の変更は、共同演者による代理発表のみ許可されます。発表のポイントとして登録できるのは、筆頭演者のみです（二重発行、両者での分割はできません）。

参加申込時の履修目的について

履修目的について、申し込み時に登録理学療法士更新ポイント、認定／専門理学療法士更新点数どちらで申し込みするかを選択する必要があります。申し込みの際は、お間違いの無いようお願いいたします。

- ・セミナー番号：125810
- ・【登録理学療法士更新】
カリキュラムコード 45 エビデンス（根拠）に基づく理学療法 12ポイント
- ・【認定／専門理学療法士更新】
学術大会（学会参加） 12点

他認定機関における単位取得について

本学術大会への出席および発表に際し、下記の単位が取得できます。参加証明書の写しを添付し各自で各認定機関へ提出ください。詳細は、各認定機関のホームページをご確認・お問い合わせください。

- ・【日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 呼吸ケア指導士資格認定更新単位の取得】
 - ・ a. 学会出席 10点
 - ・ b. 筆頭演者 10点（参加証に併せて発表を証明するページの提出が必要）

*呼吸ケア指導士について | <https://www.jsrccr.jp/medical/shidoushi/>

- ・【3学会合同呼吸療法認定士資格認定更新単位の取得】
 - ・ a. 学会出席 20点
 - ・ * 3学会呼吸療法認定士について | <https://www.jaame.or.jp/iryo/kokyu/>

■クローク

会場内に設置します。設置場所は、受付周辺に掲示します。

9月7日（土）8：10～17：30

9月8日（日）8：10～13：00

- ・両日とも終了時間後は施錠いたしますので、それ以降の取り出しには応じられません。上記ご利用時間の厳守をお願いします。
- ・貴重品、傘、PC等はお預かりできません。
- ・会期終了後のお忘れ物に関しては、会場での処分になりますのでご注意ください。

■企業展示

朱鷺メッセ3Fホワイエ（特設会場）にて、企業展示を行います。展示の時間帯は以下の通りです。

9月7日（土）9：00～17：00

9月8日（日）9：00～12：00

■表 彰

閉会式にて、各賞の表彰を行います。ご参集ください。

1. 学術大会長賞
2. 優秀賞
3. 奨励賞
4. 奨励賞：若手研究部門
5. 症例報告賞

閉会式：9月8日（日）12：10～12：30

■お知らせとお願い

- ・会場内での許可無き録音・録画・写真撮影は固く禁止いたします。なお、学会の記念事業のために、腕章をつけた主催者が写真撮影を行いますのでご了承ください。
- ・当日の問い合わせは、学術大会事務局のメールアドレスにお願いします。絶対に、会場である朱鷺メッセには電話をしないでください。

- ・受動喫煙による非喫煙者の健康への影響に配慮し、喫煙を禁止しています。
- ・発熱症状や咳など体調がすぐれない方のご来場は控えをお願いします。

■お子様を連れて現地参加を検討されている皆様へ

本学術大会では、お子様連れでの来場を歓迎いたします。（お子様の監督責任は保護者の方にお願います。）

是非とも理学療法士の背中をお子様に見ていただけたらと願っております。なお、本学術大会は託児所の設置はございません。

- ・お子様、理学療法士以外の同伴者の参加費は無料となります。
- ・発表会場には子連れ優先席を設置しております。
- ・会場周辺はご家族で楽しめるスポットが多彩にあります。

○万代シティ | <https://bandacity.com/>

○やすらぎ堤 | <https://www.hrr.mlit.go.jp/shinage/shinanogawa/sansakumap.html>

■報道関係者の皆様へ

学術大会ホームページお問い合わせより、事前の取材申し込みをお願いいたします。当日、受付にて名刺と引き換えにプレス証をお渡しします。

プレス証未着用の方の取材活動は固くお断りします。取材活動にあたっては、学術大会事務局の指示に従ってください。写真ならびにビデオ撮影に関しましては、報道目的のみとさせていただきます。撮影に関しましては、原則として、演者本人の承諾を得ている取材のみとさせていただきます。学術大会での発表（口演内容、スライド、ポスター等）は、すべて著作物です。著作権に配慮した取材をお願いいたします。口演中のフラッシュ撮影は固くお断りいたします。

■宿泊のご案内について

- ・学術大会としての宿泊の斡旋はございません。
にいがたのオススメから会場周辺の宿泊施設が検索できます。必要に応じてご利用ください。
- ・なお、学術大会と同じ日程で隣接するホールで大規模コンサートが開催されるため、現時点で周辺の宿泊施設の予約が取りにくい状況が発生しております。
会場近辺の宿泊施設が不足することが予想されていますので、宿の確保はお早めをお願いできれば幸いです。

プログラム

大会長基調講演・JSRPTセッション

大会長基調講演

9月7日（土）8:30～8:50

第1会場「マリンホール」

座長：堀江 淳（京都橘大学 健康科学部）

私たちは何を成し遂げ、何処へ向かうのか 次の10年の展望

済生会新潟県中央基幹病院

○瀬崎 学

JSRPTセッション1

9月7日（土）10:20～10:50

第1会場「マリンホール」

座長：小川 智也（愛知淑徳大学）

呼吸障害理学療法ガイドライン：新たなエビデンスと改定第3版に向けた展望

1）長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 理学療法学分野

2）長崎大学病院 リハビリテーション部

○神津 玲^{1,2)}

JSRPTセッション2

9月8日（日）9:40～10:10

第1会場「マリンホール」

座長：木村 雅彦（杏林大学）

日本呼吸理学療法学会レジストリ研究事業の取り組み

広島大学大学院医系科学研究科

○関川 清一

学会シンポジウム

学会シンポジウム1	9月7日（土）8:50～10:10	第1会場「マリンホール」
若手研究者への支援 どのように研究を進め・発表するか		

座長：木村 雅彦（杏林大学）
馬屋原 康高（広島都市学園大学 大学院保健学研究科）

研究ことはじめ ～大学教員・研究支援委員の立場から～
千葉県立保健医療大学 健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻
○稲垣 武

臨床現場で働く理学療法士の研究の進め方
広島大学病院 診療支援部リハビリテーション部門
○對東 俊介

大学の研究室と地域施設を通じた若手育成への関わり
1) 長崎大学病院リハビリテーション部, 2) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科理学療法学分野,
3) 井上病院リハビリテーション科, 4) 日本赤十字社長崎原爆病院リハビリテーション科
○花田 匡利^{1,2)}、橋本 修平³⁾、松崎 敏朗⁴⁾、柳田 頼英²⁾、田中 貴子²⁾、神津 玲^{1,2)}

学会シンポジウム2	9月7日（土）11:00～12:20	第1会場「マリンホール」
呼吸理学療法における教育・管理・運営		

座長：堀江 淳（京都橘大学 健康科学部）
守屋 正道（東京都健康長寿医療センター研究所 老化脳神経科学研究チーム自律神経機能研究）

大学教育における現状と課題
畿央大学健康科学部理学療法学科, 畿央大学大学院健康科学研究科
○田平 一行

管理者としての現状と課題
神戸市立医療センター中央市民病院
○岩田 健太郎

中堅職としての現状と課題
新潟勤労者医療協会下越病院
○高橋 祐介

学会シンポジウム3

9月7日（土）13:50～15:20

第1会場「マリンホール」

呼吸理学療法の多様性2024

座長：小川 智也（愛知淑徳大学）

俵 祐一（聖隷クリストファー大学）

熱傷患者の呼吸理学療法（広範囲熱傷患者に対する呼吸理学療法）

1）JCHO中京病院 リハビリテーションセンター

2）JCHO中京病院 救急科

○久保 貴嗣¹⁾、大須賀 章倫²⁾

PICUにおける呼吸理学療法

静岡県立こども病院 診療支援部リハビリテーション室

○北村 憲一

がん周術期におけるERASと呼吸理学療法

神戸大学医学部附属病院国際がん医療・研究センター リハビリテーション部門

○井上 順一郎

在宅での呼吸理学療法

1）ゆみのハートクリニック三鷹

2）医療法人社団ゆみの

○渡邊 寿彦¹⁾、貫井 幸恵²⁾、大浦 啓輔²⁾、古田 佳祐²⁾、鬼村 優一²⁾、
山田 愛晃²⁾、鈴木 豪^{1,2)}、弓野 大²⁾

学会シンポジウム4

9月7日（土）15:30～17:00

第1会場「マリンホール」

サルコペニアをめぐる課題

座長：玉木 彰（兵庫医科大学 リハビリテーション学部）

川越 厚良（市立秋田総合病院 リハビリテーション科）

COPDとサルコペニア

1）東京国際大学医療健康学部理学療法学科

2）東北大学大学院医学系研究科臨床障害学分野

○金崎 雅史^{1,2)}

サルコペニアとリハ・栄養

KKR高松病院 リハビリテーションセンター

○宮崎 慎二郎

サルコペニア・悪液質の最新知見

シャリテ・ベルリン医科大学 シャリテ保健研究所 再生医療研究センター

横浜市立大学 医学部 リハビリテーション科学

○岡村 正嗣

学会シンポジウム5

9月8日（日）10:20～11:50

第1会場「マリンホール」

pro-con急性期・ICUにおける運動と休息をどのように考えるか？

座長：神津 玲（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）

沖 侑太郎（神戸大学 大学院保健学研究科）

Pro：早期離床を第一に進めるべき

長崎大学病院リハビリテーション部

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 理学療法学分野

○及川 真人、花田 匡利、名倉 弘樹、竹内 里奈、神津 玲

Con：集中治療室の重症患者に対して積極的な離床は控えるべき

愛知淑徳大学 健康医療科学部 医療貢献学科理学療法学専攻

○飯田 有輝

教育講演

教育講演1	9月7日（土） 9:00～9:40	第2会場「中会議室301」
COPD		

座長：宮崎 慎二郎（KKR高松病院 リハビリテーションセンター）

慢性閉塞性肺疾患に対する呼吸リハビリテーション

- 1) さぬき市民病院 リハビリテーション技術科
- 2) 兵庫医科大学大学院 リハビリテーション科学研究科

○村川 勇^{1,2)}、玉木 彰²⁾

教育講演2	9月7日（土） 10:00～10:40	第2会場「中会議室301」
間質性肺疾患		

座長：堀江 淳（京都橘大学 健康科学部）

間質性肺疾患における運動療法の実践

公立陶生病院 中央リハビリテーション部

○渡邊 文子

教育講演3	9月7日（土） 11:00～11:40	第2会場「中会議室301」
周術期		

座長：玉木 彰（兵庫医科大学リハビリテーション学部）

周術期における呼吸理学療法の基礎知識と介入実践のポイント

京都大学医学部附属病院リハビリテーション部

○大島 洋平

教育講演4	9月7日（土） 13:50～14:30	第2会場「中会議室301」
症例報告の書き方		

座長：沖 侑大郎（神戸大学 大学院保健学研究科）

症例報告の書き方

藍野大学大学院健康科学研究科

○山科 吉弘

教育講演5

9月8日（日） 8:30～9:10

第2会場「中会議室301」

終末期・ACP

座長：関川 清一（広島大学大学院医系科学研究科）

終末期における呼吸理学療法

マリオス小林内科クリニック リハビリテーション科

○中田 隆文

教育講演6

9月8日（日） 9:20～10:00

第2会場「中会議室301」

論文のコツ

座長：川越 厚良（市立秋田総合病院 リハビリテーション科）

押さえておきたい論文執筆の基本

国際医療福祉大学福岡保健医療学部 理学療法学科

○金子 秀雄

教育講演7

9月8日（日） 10:10～10:50

第2会場「中会議室301」

人工呼吸管理

座長：俵 祐一（聖隷クリストファー大学）

人工呼吸管理患者における理学療法の基礎

兵庫医科大学病院 リハビリテーション技術部

○笹沼 直樹

教育講演8

9月8日（日） 11:00～11:40

第2会場「中会議室301」

スライド作成のetc

座長：守屋 正道（東京都健康長寿医療センター研究所 老化脳神経科学研究チーム自律神経機能研究）

相手に届けるスライド術

新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科

○椿 淳裕

協賛セミナー

協賛セミナー1

9月7日（土）12:30～13:20

第1会場「マリンホール」

協賛：帝人ヘルスケア株式会社

座長：椿 淳裕（新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科）

ハイフローセラピーの現在地：急性期から在宅まで

新潟臨港病院

○坂井 邦彦

協賛セミナー2

9月7日（土）12:30～13:20

第2会場「中会議室301」

協賛：中外製薬株式会社

座長：瀬崎 学（済生会新潟県中央基幹病院 リハビリテーション科）

肺がん治療にリハビリによる愛の手を！～肺がん周術期新時代到来～

新潟県立がんセンター新潟病院 内科

○三浦 理

協賛セミナー3

9月7日（土）12:30～13:20

第3会場「中会議室302」

協賛：フクダ電子株式会社 フクダライフテック株式会社

座長：高橋 祐介（新潟勤労者医療協会下越病院）

呼吸筋疲労に対する換気補助の役割と呼吸理学療法への応用

独立行政法人国立病院機構関門医療センター・リハビリテーション科

○石光 雄太

選考セッション

優秀演題セクション

9月8日（日）8:30～9:30

第1会場「マリンホール」

座長：沖 侑太郎（神戸大学大学院保健学研究科）

金崎 雅史（東京国際大学）

SO-1 集中治療室における人工呼吸器患者のリハビリテーションDoseと退院時歩行自立との関連：多施設前方視研究

1) 岐阜保健大学 リハビリテーション学部理学療法学科、2) プリンスタチャールズ病院 集中治療リサーチグループ、3) 静岡医療センター リハビリテーション科、4) 埼玉病院 リハビリテーション科、5) 北海道医療センター リハビリテーション科、6) 仙台医療センター リハビリテーション科、7) 製鉄記念八幡病院 リハビリテーション部、8) 那覇市立病院 リハビリテーション科、9) 別府医療センター リハビリテーション科、10) 名古屋医療センター 集中治療科

○渡辺 伸一¹⁾、劉 啓文²⁾、内藤 裕治³⁾、矢野 博義⁴⁾、小形 凌大⁵⁾、小柳 穂⁶⁾、山内 康太⁷⁾、安村 大拙⁸⁾、鈴木 啓介¹⁾、広田 美江⁹⁾、森田 恭成¹⁰⁾

SO-2 GOLDのGroupAに属する安定期COPD患者の目標歩数の検討

1) 広島都市学園大学 健康科学部、2) 京都橘大学 健康科学部、3) 新潟リハビリテーション大学 医療学部、4) 九州大学 医学部、5) 高木病院 呼吸器内科

○江越 正次朗¹⁾、堀江 淳²⁾、中川 明仁³⁾、松永 由理子⁴⁾、林 真一郎⁵⁾

SO-3 肺移植周術期における脊柱起立筋放射線密度の低下は死亡率と関連する

1) 京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部、2) 京都大学大学院医学研究科 呼吸管理睡眠制御学、3) 名古屋大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学、4) 京都大学大学院医学研究科 呼吸器外科学

○大島 洋平¹⁾、佐藤 晋²⁾、芳川 豊史³⁾、中島 大輔⁴⁾、吉岡 佑二¹⁾、濱田 涼太¹⁾、梶本 泰志¹⁾、太田垣 あゆみ¹⁾、南角 学¹⁾、田辺 直也¹⁾、池口 良輔¹⁾、伊達 洋至⁴⁾、松田 秀一¹⁾

SO-4 間質性肺疾患患者における入院時の栄養状態は生命予後に関連する

1) 三井記念病院 リハビリテーション部、2) 聖路加国際病院 リハビリテーション科、3) 北里大学病院 リハビリテーション部、4) 杏林大学大学院 保健学研究科、5) 聖路加国際病院 呼吸器内科、6) 三井記念病院 呼吸器内科

○宮原 拓哉^{1,4)}、秋保 光利¹⁾、高橋 佑太²⁾、小林 主献³⁾、木村 雅彦⁴⁾、田中 秀輝¹⁾、岩田 優助¹⁾、加藤 渉²⁾、今井 亮介⁵⁾、峯岸 裕司⁶⁾

SO-5 食道癌に対する術前吸気筋トレーニングの横隔膜移動距離と呼吸器合併症予防効果の検証—無作為化比較試験—

1) 近畿大学病院 リハビリテーション部、2) 神戸大学大学院 パブリックヘルス領域、3) 近畿大学医学部 リハビリテーション医学、4) 近畿大学医学部 外科学

○水澤 裕貴^{1,2)}、東本 有司³⁾、白石 治⁴⁾、白石 匡¹⁾、杉谷 竜司¹⁾、木本 祐太¹⁾、野口 雅矢¹⁾、神吉 健吾¹⁾、藤田 修平¹⁾、木村 保¹⁾、石川 朗²⁾、安田 卓司⁴⁾

SO-6 急性呼吸不全で入院した間質性肺疾患患者における退院時歩行速度は生命予後と関連する

1) 北里大学病院 リハビリテーション部、2) 三井記念病院 リハビリテーション部、3) 聖路加国際病院 リハビリテーション科、4) 聖路加国際病院 呼吸器内科、5) 三井記念病院 呼吸器内科

○小林 主献¹⁾、荻谷 英紀¹⁾、濱崎 伸明¹⁾、秋保 光利²⁾、高橋 佑太³⁾、宮原 拓哉²⁾、田中 英輝²⁾、岩田 優助²⁾、今井 亮介⁴⁾、峯岸 裕司⁵⁾

一般口述

一般口述1	9月7日(土) 9:00~10:00	第3会場「中会議室302」
在宅		

座長：阿波 邦彦（奈良学園大学）
尾山 陽平（北海道病院）

O-1 床走行リフトを導入し家族2名で車いす移乗が可能となり活動範囲が広がった在宅人工呼吸器装着症例

1) JA長野厚生連 佐久総合病院 理学療法科、2) JA長野厚生連 佐久総合病院 看護部、3) JA長野厚生連 佐久総合病院 臨床工学科、4) JA長野厚生連 佐久総合病院 訪問看護ステーション、5) JA長野厚生連 佐久総合病院 テクノエイド支援室

○松本 武志^{1,5)}、山木 裕紀^{2,5)}、関本 和浩³⁾、岡部 美穂⁴⁾、櫻井 進一¹⁾、
依田 英樹¹⁾

O-2 ハイフロー使用中の間質性肺炎患者に対する訪問リハビリテーションがドライブ活動獲得に繋がった1例

1) 訪問看護ステーション リハケア芦城、2) 浅ノ川総合病院 リハビリテーション科、3) やわたメディカルセンター 呼吸器内科

○東 利紀¹⁾、小ノ澤 真一²⁾、宮本 由香里¹⁾、酒井 広勝¹⁾、森安 祐子¹⁾、
石田 香織¹⁾、堀田 めぐみ¹⁾、片山 伸幸³⁾

O-3 理学療法介入で在宅NPPV導入が可能となった学童期のDMD患者の一症例

1) 国立病院機構北海道医療センター 神経筋/成育センター リハビリテーション室

○福本 幹太¹⁾、三浦 利彦¹⁾

O-4 SpO₂モニタリングと身体活動量計を用いて在宅でのHOT適正流量を検討した症例

1) 医学研究所北野病院 リハビリテーション科、2) 名古屋学院大学 リハビリテーション学部理学療法学科

○浦 慎太郎¹⁾、本田 憲胤¹⁾、石垣 智也²⁾

O-5 超高齢独居のCOPD患者が入院から在宅までシームレスな介入により身体活動性向上を図れた一例

1) あがの市民病院 リハビリテーション科、2) あがの市民病院 訪問看護ステーション

○田中 美保¹⁾、長谷川 俊輔¹⁾、松岡 潤²⁾

O-6 当院の慢性呼吸器疾患患者におけるHOT導入前後1年での身体活動量変化

1) 産業医科大学若松病院 リハビリテーション部、2) 産業医科大学 リハビリテーション医学講座

○中元 洋子¹⁾、松嶋 康之²⁾

一般口述2

9月7日(土) 10:10~11:10

第3会場「中会議室302」

COPD1

座長：江越 正次郎（広島都市学園大学）

長谷川 信（群馬大学医学部附属病院）

O-7

安定期COPD患者における生活空間の狭小化要因：1年間の呼吸理学療法を経て

1) 奈良学園大学 保健医療学部リハビリテーション学科、2) 長生堂渡辺医院 リハビリテーション科、
3) 長生堂渡辺医院 呼吸器内科、4) 高木病院 呼吸器内科、5) 京都橘大学 健康科学部、6) NPO法人
はがくれ呼吸ケアネット

○阿波 邦彦^{1,6)}、古河 琢也^{2,6)}、猿渡 聡^{2,6)}、大岩 り子^{2,6)}、渡邊 尚^{3,6)}、林 真一郎^{4,6)}、
堀江 淳^{5,6)}

O-8

安定期男性COPD患者におけるWHO障害評価面接基準（WHODAS2.0）の関連因子についての検討

1) 長生堂渡辺医院 リハビリテーション科、2) 奈良学園大学 保健医療学部、3) 長生堂渡辺医院 呼吸器
内科、4) 高木病院 呼吸器内科、5) 京都橘大学 健康科学部、6) NPO法人はがくれ呼吸ケアネット

○古河 琢也^{1,6)}、猿渡 聡^{1,6)}、大岩 り子^{1,6)}、阿波 邦彦^{2,6)}、渡邊 尚^{3,6)}、林 真一郎^{4,6)}、
堀江 淳^{5,6)}

O-9

慢性閉塞性肺疾患患者における筋酸素動態の特徴と運動耐容能との関連

1) 社会医療法人財団新和会八千代病院 総合リハビリセンター、2) 社会医療法人財団新和会八千代病院 呼
吸器内科、3) 畿央大学大学院 健康科学研究科

○齋藤 広貴^{1,3)}、右田 大介¹⁾、関根 敏生¹⁾、松山 太士¹⁾、峯澤 智之²⁾、
赤壁 知哉³⁾、野中 裕樹³⁾、守川 恵助³⁾、河村 勇祐³⁾、城山 潤³⁾、田平 一行³⁾

O-10

慢性閉塞性肺疾患患者の位相角に関連する身体活動強度の検証

1) 京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部、2) 京都大学医学部附属病院 リハビリテーション科、
3) 京都大学大学院医学研究科 呼吸器内科学

○濱田 涼太¹⁾、田辺 直也^{2,3)}、大島 洋平¹⁾、吉岡 佑二¹⁾、前谷 知毅³⁾、
白石 祐介³⁾、佐藤 晋³⁾、佐藤 篤靖³⁾、池口 良輔²⁾、松田 秀一²⁾、平井 豊博³⁾

O-11

自己排痰法の習得により運動耐容能や健康関連QOLが向上したCOPD症例

1) 社会医療法人鳩仁会札幌中央病院 リハビリテーション科

○佐々木 翼¹⁾

O-12

Asymmetric HFNCを用いた慢性閉塞性肺疾患の呼吸管理・呼吸理学療法

1) 独立行政法人国立病院機構関門医療センター リハビリテーション科、2) 独立行政法人国立病院機構山口
宇部医療センター 呼吸器内科、3) 山口大学医学部附属病院 呼吸器感染症内科、4) 独立行政法人国立病院
機構山口宇部医療センター 地域医療連携室

○石光 雄太¹⁾、上原 翔²⁾、渡邊 倫哉²⁾、水津 純輝³⁾、杉村 なつみ⁴⁾

一般口述3

9月7日(土) 11:20~12:20

第3会場「中会議室302」

ILD

座長：森野 陽（北海道千歳リハビリテーション大学）

秋保 光利（東京医療学院大学）

O-13 膠原病に合併した間質性肺疾患患者における運動耐容能と生命予後との関連

1) 北里大学病院 リハビリテーション部、2) 北里大学 医学部膠原病感染内科学

○荻谷 英紀¹⁾、鈴木 良和¹⁾、奥 健志²⁾、小林 主猷¹⁾、遠原 真一¹⁾、山岡 邦宏²⁾

O-14 間質性肺疾患患者におけるBMIとエネルギー代謝量の特徴：間接熱量測定による検討

1) 松阪市民病院 リハビリテーション室、2) 畿央大学大学院 健康科学研究科

○守川 恵助^{1,2)}、武村 裕之¹⁾、稲葉 匠吾¹⁾、北山 可奈¹⁾、今岡 晴香¹⁾、橋爪 裕¹⁾、鈴木 優太¹⁾、田平 一行²⁾

O-15 間質性肺疾患患者における入院関連能力低下の発生率と関連因子の検討

1) 市立札幌病院 リハビリテーション科、2) 市立札幌病院 リウマチ・免疫内科、3) 市立札幌病院 呼吸器内科

○栗本 俊明¹⁾、高橋 正浩¹⁾、近藤 真²⁾、本村 文宏³⁾

O-16 労作時低酸素血症を伴う間質性肺疾患患者における酸素効果とQOLの関連

1) 公立陶生病院 中央リハビリテーション部

○平澤 純¹⁾、渡邊 文子¹⁾、古川 拓朗¹⁾、三嶋 卓也¹⁾、長江 優介¹⁾、角田 光¹⁾、中村 広子¹⁾、小川 智也¹⁾

O-17 入院中に重複疾患の悪化によりADL低下に陥った重症間質性肺炎患者への理学療法の経験

1) 横浜労災病院 中央リハビリテーション部

○森田 和弥¹⁾

O-18 吸気筋トレーニングにて最大吸気圧が改善した拘束性換気障害を呈した肺移植片対宿主病の一例

1) 近畿大学病院 リハビリテーション部、2) 畿央大学大学院 健康科学研究科、3) 近畿大学 医学部リハビリテーション医学

○木本 祐太¹⁾、田平 一行²⁾、白石 匡¹⁾、杉谷 竜司¹⁾、水澤 裕貴¹⁾、野口 雅矢¹⁾、神吉 健吾¹⁾、木村 保¹⁾、東本 有司³⁾

一般口述4

9月7日(土) 13:30~14:30

第3会場「中会議室302」

がん・外科周術期

座長：濱崎 伸明（北里大学病院）

森山 武（市立函館病院）

O-19 Association Between Preoperative Physical Function and Postoperative Outcomes in Patients who Undergo Lung Cancer Resection Surgery

1) Kurashiki Central Hospital Department of Rehabilitation, 2) Kurashiki Central Hospital Department of General Thoracic Surgery

○KURATA Kazunori¹⁾、NAGATA Yukio¹⁾、OKI Keisuke¹⁾、ONO Keishi¹⁾、MIYAKE Tomohiro¹⁾、INUI Kaori¹⁾、KOBAYASHI Masashi²⁾

O-20 下肢筋力は外来化学療法施行中の進行・再発肺がん患者の生命予後と関連する

1) 関西医科大学 リハビリテーション学部、2) 関西医科大学 呼吸器腫瘍内科学講座、3) 関西医科大学附属病院 リハビリテーション科、4) 関西医科大学 リハビリテーション医学講座

○福島 卓矢¹⁾、勝島 詩恵²⁾、小串 直也³⁾、長谷 公隆⁴⁾、中野 治郎¹⁾

O-21 函館地区における肺癌周術期リハビリ連携の一症例

1) 社会医療法人 高橋病院 リハビリテーション科、2) 社会医療法人函館厚生院 函館五稜郭病院 肺がん・呼吸器病センター

○石垣 広大¹⁾、三島 誠一¹⁾、上原 浩文²⁾

O-22 肺・肝臓同時移植が施行された先天性角化不全症男児に対する呼吸理学療法の経験

1) 京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部、2) 京都大学 医学研究科人間健康科学系専攻先端作業療法学講座、3) 京都大学 医学研究科医学専攻器官外科学講座呼吸器外科学、4) 京都大学医学部附属病院小児外科、5) 京都大学 医学研究科医学専攻感覚運動系外科学講座整形外科

○浅野 伝美¹⁾、大島 洋平¹⁾、宮坂 淳介¹⁾、吉岡 佑二¹⁾、濱田 涼太¹⁾、草野 佑介²⁾、伊達 洋至³⁾、大角 明宏³⁾、岡本 竜弥⁴⁾、松田 秀一⁵⁾

O-23 臍臓がん術前運動耐容能は1年以内予定外入院と関連する

1) 北九州市立医療センター リハビリテーション技術課、2) 北九州市立医療センター 外科、3) 名古屋女子大学 医療科学部

○音地 亮¹⁾、中井 明日翔¹⁾、垣添 慎二¹⁾、西原 一善²⁾、内藤 紘一³⁾

O-24 食道癌根治手術患者における術前栄養運動療法が術後合併症と身体機能に与える影響

1) 京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部、2) 京都大学医学部附属病院 消化管外科

○吉岡 佑二¹⁾、錦織 達人²⁾、大島 洋平¹⁾、濱田 涼太¹⁾、上野 剛平²⁾、吉田 真也²⁾、角田 茂²⁾、小濱 和貴²⁾、松田 秀一¹⁾

一般口述5

9月7日(土) 14:40~15:40

第2会場「中会議室301」

サルコペニア

座長：柳田 頼英（長崎大学）

松嶋 真哉（杏林大学）

O-25 安定期間質性肺炎患者のサルコペニア有病率と臨床的特徴について

1) トヨタ記念病院 リハビリテーション科、2) トヨタ記念病院 呼吸器内科

○後藤 大地¹⁾、高橋 宏和¹⁾、本川 剛志¹⁾、木田 洋希¹⁾、佐々木 晴子¹⁾、
行徳 真波¹⁾、駒村 和雄¹⁾、木村 元宏²⁾

O-26 サルコペニアの摂食嚥下障害を呈した肺炎症例に対する神経筋電気刺激の効果—予備的準ランダム化比較試験—

1) 奈良県西和医療センター リハビリテーション部、2) 畿央大学大学院 健康科学研究科

○吉田 陽亮^{1,2)}、谷山 みどり¹⁾、藤原 大輔¹⁾、山田 綾美¹⁾、土居 尚樹¹⁾、
山本 未生¹⁾、岡山 悟志¹⁾

O-27 地域在住高齢者における呼吸サルコペニアとサルコペニア、ロコモティブシンドロームの関連

1) 医療法人社団 高邦会 高木病院 リハビリテーション部、2) 国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 理学療法学科

○森 泉沙紀¹⁾、金子 秀雄²⁾、中原 雅美²⁾、松田 憲亮²⁾、劉 振²⁾、下田 武良²⁾、
鈴木 あかり²⁾、永井 良治²⁾、有家 尚志²⁾、高野 吉朗²⁾

O-28 地域在住高齢者の呼吸サルコペニア・全身性サルコペニアと口腔機能の関係

1) 大阪河崎リハビリテーション大学 理学療法専攻、2) 大阪河崎リハビリテーション大学大学院 運動機能科学領域、3) 大阪河崎リハビリテーション大学大学院 コミュニケーション科学領域

○村上 達典¹⁾、中村 美砂^{1,2)}、今岡 真和^{1,2)}、久保 峰鳴¹⁾、佐伯 純弥¹⁾、
青木 健太³⁾、大木 雅隆²⁾

O-29 呼吸器疾患入院患者における呼吸サルコペニアの可能性が高い患者の特性

1) 奈良県西和医療センター リハビリテーション科、2) 畿央大学大学院 健康科学研究科、3) 奈良県西和医療センター 呼吸器内科

○谷山 みどり¹⁾、吉田 陽亮^{1,2)}、藤原 大輔¹⁾、山田 綾美¹⁾、土居 尚樹¹⁾、
岡山 悟志¹⁾、杉村 裕子³⁾

O-30 肺癌手術患者における手術関連骨格筋量減少に影響を及ぼす因子の検討

1) 株式会社麻生飯塚病院 リハビリテーション部、2) 株式会社麻生飯塚病院 呼吸器外科、3) 株式会社麻生飯塚病院 リハビリテーション科

○木戸 孝史¹⁾、奥野 将太¹⁾、白土 健吾¹⁾、川満 謙太¹⁾、安田 学²⁾、山下 智弘³⁾

一般口述6

9月7日(土) 14:40~15:40

第3会場「中会議室302」

肺炎・誤嚥性肺炎

座長：岸川 典明（愛知医科大学病院）

市川 毅（東海大学医学部附属病院）

O-31 重症肺炎にて人工呼吸器、ネーザルハイフロー導入後、早期離床を図った超高齢の一症例

1) 東戸塚記念病院 リハビリテーション科

○及川 陽香¹⁾

O-32 長期入院および死亡退院する高齢肺炎患者の特徴

1) 社会医療法人ベガサス 馬場記念病院 リハビリテーション部、2) 神戸学院大学大学院 総合リハビリテーション学研究科、3) 社会医療法人ベガサス 馬場記念病院 呼吸器内科

○赤岩 秀則^{1,2)}、高村 竜一郎³⁾、森本 陽介²⁾

O-33 高齢肺炎患者における脊柱起立筋の筋量/筋質低下の重複が嚥下機能に及ぼす影響

1) さぬき市民病院 リハビリテーション技術科、2) 兵庫医科大学大学院 リハビリテーション科学研究科、3) KKR高松病院 リハビリテーションセンター、4) さぬき市民病院 呼吸器内科

○村川 勇一^{1,2)}、玉木 彰²⁾、松沢 良太²⁾、宮崎 慎二郎³⁾、藤嶋 孝次¹⁾、堀 竜馬¹⁾、名出 美紀¹⁾、坂井 健一郎⁴⁾

O-34 入院時の握力は肺炎患者のリハビリテーションアウトカムを予測する有用な筋力評価指標である

1) わかくさ竜間リハビリテーション病院 リハビリテーション部、2) 甲南女子大学 看護リハビリテーション学部、3) わかくさ竜間リハビリテーション病院 診療部

○玉村 悠介¹⁾、芝 寿実子²⁾、松浦 道子¹⁾、錦見 俊雄³⁾

O-35 リハビリテーションが処方された誤嚥性肺炎入院患者の90日生存に関連する因子：単施設後方視的研究

1) 医療法人社団 高邦会 高木病院 リハビリテーション部

○小田 和弥¹⁾、金子 秀雄¹⁾

O-36 脊柱側弯症に伴う拘束性換気障害に気管支喘息発作が合併した患者に対し、挿管管理中から早期離床した一例

1) 一般財団法人 住友病院 リハビリテーション科、2) 一般財団法人 住友病院 呼吸器内科、3) 一般社団法人 住友病院 総合診療科

○中村 慎也¹⁾、川上 秀夫¹⁾、村川 佳太¹⁾、清水 和也¹⁾、三好 祐之¹⁾、桂 悟史²⁾、重松 三知夫²⁾、筒井 竣亮³⁾

一般口述7

9月7日(土) 15:50~16:50

第2会場「中会議室301」

排痰

座長：三浦 利彦（国立病院機構北海道医療センター）

野々山 忠芳（福井大学医学部附属病院）

O-37 アウトカム指標にCOPMを用い呼吸理学療法を介入した在宅重度脳性麻痺児の一例

1) 合同会社BOND ハルガーデン、2) 一般社団法人Natural こども発達支援所はる、3) 新潟県立新発田病院 小児科

○齋藤 武^{1,2)}、平野 和行¹⁾、小川 裕子¹⁾、榎原 清一³⁾

O-38 多系統萎縮症の咳嗽障害に対するMI-Eの効果：シングルケースデザイン

1) 国立病院機構広島西医療センター リハビリテーション科、2) 国立病院機構松江医療センター リハビリテーション科、3) 国立病院機構広島西医療センター 脳神経内科

○谷内 涼馬¹⁾、森岡 真一²⁾、原 天音¹⁾、門田 和也¹⁾、鳥居 剛³⁾

O-39 重症Guillain-Barre症候群患者に対し排痰補助装置を早期導入し呼吸器合併症なく人工呼吸器離脱に至った1例

1) 一宮市立市民病院 リハビリテーション室

○伊藤 将平¹⁾、杉山 佳隆¹⁾

O-40 Mechanical Insufflator-Exsufflatorが排痰・無気肺の改善に奏功した肥満性低換気症候群の1例

1) 医学研究所 北野病院 リハビリテーション科

○前田 麻里¹⁾、富 謙伸¹⁾、益尾 洋児¹⁾、本田 憲胤¹⁾

O-41 Electric impedance tomographyを併用した呼吸理学療法が無気肺に対し効果的であった一例

1) 埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション部

○上芝 香穂¹⁾、守岡 義紀¹⁾

O-42 電気インピーダンストモグラフィを併用し呼吸理学療法の効果をモニタリングした重症心身障害者の一症例

1) 埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション部

○守岡 義紀¹⁾

一般口述8

9月7日(土) 15:50~16:50

第3会場「中会議室302」

人工呼吸器管理

座長：山下 康次（市立函館病院）

小幡 賢吾（岡山赤十字病院）

O-43 ウイル病により人工呼吸器管理を要した症例に対して集中治療室からリハビリテーションを施行した一例

1) 地域医療振興協会 練馬光が丘病院 リハビリテーション室、2) 地域医療振興協会 練馬光が丘病院 総合救急診療科 集中治療部門

○駒井 由翔¹⁾、菅野 雄大¹⁾、矢崎 祥一郎¹⁾、新井 康弘¹⁾、木村 泰¹⁾、橋元 崇¹⁾、片岡 惇²⁾

O-44 重症患者における高度救命救急センター退室時の握力は歩行自立を予測する：前向きコホート研究

1) 国立病院機構 長崎医療センター リハビリテーション科、2) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 理学療法学分野、3) 国立病院機構 嬉野医療センター 救急科

○吉永 龍史^{1,2)}、山田 成美³⁾、神津 玲²⁾

O-45 当院集中治療センターにおける、人工呼吸器管理中に理学療法開始となった対象者の予後と傾向

1) 鶴岡市立荘内病院 リハビリテーションセンター、2) 鶴岡市立荘内病院 小児科

○五十嵐 幸広¹⁾、佐藤 生行¹⁾、佐藤 紘一²⁾

O-46 Intensive Care Unitに入室した重症患者への立位練習開始時期と、退院時のPost Intensive Care Syndromeの関連

1) 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 リハビリテーション技術科、2) 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 救急集中治療科、3) 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 リハビリテーション科

○和田 拓弥¹⁾、宮田 信彦¹⁾、内村 賢博¹⁾、武内 剛士¹⁾、西村 彰規¹⁾、藤田 拓郎¹⁾、小澤 和義¹⁾、平泉 志保²⁾、山本 和明³⁾

O-47 人工呼吸管理後にICU-acquired weaknessを発症した重症COVID-19患者における機能回復の予測因子に関する検討

1) 神戸市立医療センター中央市民病院 リハビリテーション技術部、2) 神戸大学大学院 保健学研究科、3) 神戸市立医療センター中央市民病院 リハビリテーション科、4) 神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科、5) 神戸市立医療センター中央市民病院 麻酔科、6) 神戸市立医療センター中央市民病院 救急科、7) 神戸市立医療センター中央市民病院 感染症科

○山田 莞爾^{1,2)}、北井 豪³⁾、岩田 健太郎^{1,2)}、西原 浩真¹⁾、立川 良⁴⁾、伊藤 次郎⁵⁾、瀬尾 龍太郎⁶⁾、黒田 浩一⁷⁾、富井 啓介⁴⁾、幸原 伸夫³⁾

O-48 先天性横隔膜患者における人工呼吸器管理期間と4-5歳時の横隔膜成長との関係

1) 琉球大学病院 医療技術部リハビリテーション部門、2) 琉球大学病院 周産母子センター、3) 琉球大学大学院保健学研究科 国際島嶼保健学領域

○星野 宗勳^{1,3)}、吉田 朝秀²⁾

一般口述9	9月8日（日） 8:30～9:30	第3会場「中会議室302」
COPD2		

座長：伊藤 健一（奈良学園大学）
今村 創（SBC東京医療大学）

O-49 気道クリアランスを中心とした呼吸リハビリテーションにより健康関連QOLが改善した線毛機能不全症候群の1例

1) 結核予防会複十字病院 呼吸ケアリハビリセンター

○大野 一樹¹⁾、髻谷 満¹⁾、松村 佑介¹⁾、大松 峻也¹⁾、川原 一馬¹⁾、豊田 裕規¹⁾、
原田 梨紗子¹⁾

O-50 慢性閉塞性肺疾患患者における最大吸気流速と身体機能の関連について

1) 長生堂渡辺医院 リハビリテーション科、2) NPO法人はがくれ呼吸ケアネット、3) 長生堂渡辺医院 呼吸器内科、4) 高木病院 呼吸器内科、5) 長崎大学 生命医科学域（保健学系）

○猿渡 聡^{1,2)}、古河 琢也^{1,2)}、大岩 り子^{1,2)}、渡邊 尚^{2,3)}、林 真一郎^{2,4)}、田中 貴子⁵⁾

O-51 重症COPD患者に対して継続的なセルフマネジメント指導を行った症例

1) 医療法人済恵会須藤病院 リハビリテーション診療部

○小島 拓也¹⁾、須田 敏広¹⁾、悴田 康平¹⁾、嶋崎 寛乃¹⁾

O-52 外来呼吸リハビリテーションにより運動耐容能が著明に改善した重症COPDの2症例 ～骨格筋評価の有用性～

1) 近畿大学病院 リハビリテーション部、2) 近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科学、3) 近畿大学医学部 リハビリテーション医学

○神吉 健吾¹⁾、白石 匡¹⁾、杉谷 竜司¹⁾、水澤 裕貴¹⁾、野口 雅矢¹⁾、木本 祐太¹⁾、
武田 優¹⁾、木村 保¹⁾、山崎 亮²⁾、西山 理²⁾、松本 久子²⁾、東本 有司^{2,3)}

O-53 慢性閉塞性肺疾患患者の生きがいは精神的要因に関連する

1) 神戸国際大学 リハビリテーション学部、2) NPO法人 はがくれ呼吸ケアネット、3) 京都橘大学大学院 健康科学研究科、4) 酒井医院 リハビリテーション科、5) 奈良学園大学 保健医療学部、6) かとうクリニック 呼吸器内科

○小谷 将太^{1,2,3)}、武田 広道^{2,3)}、日高 春菜^{2,4)}、阿波 邦彦^{2,5)}、加藤 剛⁶⁾、堀江 淳^{2,3)}

O-54 高齢慢性呼吸器疾患患者の前頭葉機能低下の特徴

1) 湘南藤沢徳洲会病院 リハビリテーション室、2) 湘南藤沢徳洲会病院 呼吸器内科

○堀越 一孝¹⁾、岸田 詩織¹⁾、武田 優子¹⁾、大西 織帆¹⁾、渡邊 宏樹¹⁾、
日比野 真²⁾

一般口述10

9月8日（日）9:40～10:40

第3会場「中会議室302」

多職種連携

座長：田代 尚範（昭和大学）

平澤 純（公立陶生病院）

O-55 重度認知機能低下患者に多職種と連携した呼吸リハビリテーションを実施し、自宅退院に至った経験

1) 医療法人平成博愛会 世田谷記念病院 リハビリテーション科

○齋藤 大希¹⁾

O-56 当院における救命救急センターの早期離床に対する意識調査

1) 新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院 リハビリテーション技術科、2) 新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院 救急科

○井佐 龍太郎¹⁾、今井 遼太¹⁾、阿部 貴文¹⁾、山口 征吾²⁾

O-57 365日リハ介入に対する理学療法士と看護師の捉え方の違い

1) 一般財団法人 永頼会 松山市民病院 リハビリテーション科、2) 一般財団法人 永頼会 松山市民病院 看護師、3) 一般財団法人 永頼会 松山市民病院 救急科

○萩森 康孝¹⁾、中田 亮輔¹⁾、沖田 将斗¹⁾、森山 翔太¹⁾、作道 悠花¹⁾、
富岡 久美子²⁾、箭代 理沙²⁾、小田原 一哉³⁾

O-58 リハビリテーション介入以外での病棟体位ドレナージ実施の取り組みについて

1) 医療法人済恵会須藤病院 リハビリテーション診療部、2) 医療法人済恵会須藤病院 看護部、3) 医療法人済恵会須藤病院 診療部

○須田 敏広¹⁾、悴田 康平¹⁾、小島 拓也¹⁾、嶋崎 寛乃¹⁾、佐藤 薫里²⁾、
山田 玲夏²⁾、木村 広大³⁾、須藤 雄仁³⁾

O-59 肥満肺胞低換気に伴うCO₂ナルコーシスを呈した重症例に対して、病棟と連携した呼吸リハが奏効した一例

1) 新潟大学医歯学総合病院 医療技術部リハビリテーション部門、2) 新潟大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器・感染症内科学分野、3) 医療法人社団時正会 佐々総合病院 内科、4) 新潟大学大学院医歯学総合研究科 病態栄養学講座、5) 新潟大学医歯学総合病院 看護部、6) 新潟大学医歯学総合病院 リハビリテーション科

○加藤 諄一¹⁾、大嶋 康義²⁾、穂苅 諭^{2,3)}、永井 明日香²⁾、蒲澤 秀門⁴⁾、
福島 雅子⁵⁾、葦澤 紀文¹⁾、上路 拓美¹⁾、木村 慎二⁶⁾

O-60 当院でのRST回診記録から見た、人工呼吸器装着患者への理学療法介入の課題

1) SUBARU健康保険組合 太田記念病院 リハビリテーション部、2) SUBARU健康保険組合 太田記念病院 救急科、3) SUBARU健康保険組合 太田記念病院 臨床工学部、4) SUBARU健康保険組合 太田記念病院 看護部

○相場 直樹¹⁾、櫻井 馨士²⁾、椎名 盛一³⁾、石井 祥子⁴⁾

ポスター

ポスター1

9月7日(土) 10:00~10:50

ポスター会場「ホワイエ」

人工呼吸器管理

座長：竹内 雅史（東北大学病院）

堅田 紘頌（聖マリアンナ医科大学病院）

P-1

胸部を含む広範囲熱傷に対する理学療法の経過 ―動的肺コンプライアンスの低下を認めた1例―

1) 新潟大学医歯学総合病院 医療技術部 リハビリテーション部門、2) 新潟大学医歯学総合病院 集中治療部、3) 新潟大学大学院 機能再建医学講座 整形外科学分野、4) 新潟大学医歯学総合病院 総合リハビリテーションセンター

○坂野 周平¹⁾、本田 博之²⁾、村上 玲子³⁾、葦澤 紀文¹⁾、上路 拓美¹⁾、木村 慎二⁴⁾

P-2

長期人工呼吸器管理に至った症例に対して積極的な歩行練習の導入により呼吸器離脱に関与できた一症例

医療法人徳洲会 千葉西総合病院 リハビリテーション室

○鈴木 雄大、谷地 直樹、福家 晶子

P-3

演題取り下げ

P-4

IMT（吸気筋トレーニング）が再挿管を望まない患者の一助となった症例

1) 洲本伊月病院 リハビリテーション部、2) 洲本伊月病院 臨床工学部、3) 洲本伊月病院 看護部、4) 洲本伊月病院 内科

○木曾 健太¹⁾、魚井 雄貴¹⁾、魚井 百恵¹⁾、橋本 直樹²⁾、飛松 祐介²⁾、川 二美³⁾、児玉 恵³⁾、吉田 寛⁴⁾

P-5

長期間の深鎮静管理中に神経筋電気刺激療法を実施し、ICU-acquired weaknessを抑制できた敗血症患者2例

1) 藤田医科大学病院 リハビリテーション部、2) 藤田医科大学 医学部リハビリテーション医学講座

○篠原 史都¹⁾、杉山 健太¹⁾、尾崎 祐輔¹⁾、伊藤 翔太¹⁾、後藤 和樹¹⁾、大高 洋平²⁾

P-6

ICU-AWおよび横紋筋融解症による運動機能低下に対し、B-SESと段階的な運動でADLが向上した重症肺炎の一症例

1) トヨタ記念病院 リハビリテーション科、2) トヨタ記念病院 呼吸器内科

○木田 洋希¹⁾、後藤 大地¹⁾、高橋 宏和¹⁾、駒村 和雄¹⁾、江尻 直弥²⁾

ポスター2

9月7日(土) 11:10~12:00 ポスター会場「ホワイエ」

COVID-19・ILD

座長：小澤 哲也（小田原市立病院）

中村 可愛（新潟臨港病院）

P-7

ADLが再獲得できたCOVID-19に罹患した重度呼吸不全合併間質性肺炎の一例

1) 新潟大学医歯学総合病院 医療技術部リハビリテーション部門、2) 新潟大学医歯学総合研究科 呼吸器・感染症内科学分野、3) 医療法人社団時正会 佐々総合病院 内科、4) 新潟大学医歯学総合病院 リハビリテーション科

○岩崎 円¹⁾、荏澤 紀文¹⁾、穂苅 諭^{2,3)}、永井 明日香²⁾、大嶋 康義²⁾、上路 拓美¹⁾、木村 慎二⁴⁾

P-8

運動－呼吸同調を意識した歩行指導により低酸素血症が軽減した間質性肺炎患者の一症例

横浜労災病院 中央リハビリテーション部

○富井 希陽路

P-9

診断過程の初期評価における間質性肺疾患患者の身体機能についての検討

1) 国立病院機構西新潟中央病院 リハビリテーション科、2) 国立病院機構西新潟中央病院 呼吸器センター 内科

○長谷川 雄司¹⁾、森山 寛史²⁾、木村 夕香²⁾、大平 徹郎²⁾

P-10

間質性肺炎急性増悪患者に対するリザーバー付き呼吸同調器が有効であった症例

成田赤十字病院 リハビリテーション科

○矢萩 貴紀

P-11

呼吸苦が強く歩行獲得と自宅退院までに時間を要した長期COVID-19陽性患者の1例

東京都済生会中央病院 リハビリテーション技術科

○片倉 哲也、立川 雄斗、小幡 加奈

P-12

COVID-19を発症、重症化し罹患後症状により長期間のリハビリテーションによって社会復帰した症例

1) 社会医療法人社団 東京巨樹の会 東京品川病院 医療技術部 リハビリテーション科、2) 社会医療法人社団 東京巨樹の会 東京品川病院 呼吸器内科

○安西 拓也¹⁾、中野 吉英¹⁾、室井 隆志¹⁾、太田 真一郎²⁾

ポスター3

9月7日(土) 14:00~15:00

ポスター会場「ホワイエ」

avant-garde

座長：中田 秀一（聖マリアンナ医科大学病院）

長谷川 俊輔（あがの市民病院）

P-13 コロナ禍で開催した患者向け呼吸教室の報告

1) 新潟臨港病院 リハビリテーション科、2) 新潟臨港病院 看護部、3) 新潟臨港病院 薬剤部、4) 新潟臨港病院 在宅医療部、5) 新潟臨港病院 内科

○中村 可愛¹⁾、石川 亮¹⁾、下村 智徳¹⁾、阿部 元輝¹⁾、寺澤 怜未¹⁾、五十嵐 誠²⁾、庭山 雅幸³⁾、丸谷 温⁴⁾、筒井 奈々子⁵⁾、坂井 邦彦^{4,5)}

P-14 進行性核上性麻痺を背景とし、起立性低血圧の為離床に難渋した誤嚥性肺炎の症例

横浜労災病院 中央リハビリテーション部

○飯島 祥太

P-15 栄養嚥下を考慮したリハビリテーション計画—重症COPDの一症例報告—

1) 新潟県立中央病院 リハビリテーション科、2) 新潟県立柿崎病院 総合診療科

○木賀 洋¹⁾、太田 求磨²⁾

P-16 三次急性期病院における理学療法レジデント制度での2年間の経験と2024年度現在の取り組み

1) 長岡赤十字病院 リハビリテーション科、2) 新潟医療福祉大学 医療福祉学研究科、3) 神戸市立医療センター中央市民病院 リハビリテーション技術部

○佐藤 大地^{1,2)}、椿 淳裕²⁾、岩田 健太郎³⁾、寺澤 知哲¹⁾、諏訪 和彦¹⁾

P-17 先天性側弯症による拘束性換気障害をきたした患者に呼吸リハビリテーションを導入した1例

1) 東京品川病院 リハビリテーション科、2) 東京品川病院 呼吸器内科

○守永 美希¹⁾、根岸 克也¹⁾、高橋 秀徳²⁾

P-18 肺移植患者の気胸合併と理学療法

1) 東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部、2) 東京大学医学部附属病院 呼吸器外科

○安井 健¹⁾、長谷川 真人¹⁾、藤堂 太右¹⁾、中平 有¹⁾、伊藤 智絵¹⁾、横田 一彦¹⁾、井口 はるひ¹⁾、藤原 清香¹⁾、此枝 千尋²⁾、佐藤 雅昭²⁾、緒方 徹¹⁾

P-19 サルモネラ感染症により多臓器不全に陥った症例が、理学療法介入により直接自宅退院に至った一症例

上尾中央総合病院 リハビリテーション技術科

○大原 凌、小野田 翔太

ポスター4

9月7日(土) 15:30~16:20

ポスター会場「ホワイエ」

がん・外科周術期

座長：福島 卓矢（関西医科大学）

木賀 洋（新潟県立中央病院）

P-20 肺がん切除患者における術前栄養評価と身体機能および術後経過との関連

1) 社会医療法人財団 池友会 新小文字病院 リハビリテーション科、2) 社会医療法人財団 池友会 新小文字病院 呼吸器外科、3) 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部

○川上 慧¹⁾、宗 哲哉²⁾、山下 直樹²⁾、井元 淳³⁾、高橋 精一郎³⁾

P-21 函館地区における肺癌周術期リハビリテーション地域連携の取り組み

1) 函館五稜郭病院 リハビリテーション科、2) 高橋病院 リハビリテーション科、3) 函館五稜郭病院 呼吸器外科

○浅地 菜々子¹⁾、中釜 郁¹⁾、三島 誠一²⁾、石垣 広大²⁾、上原 浩文³⁾

P-22 当院の周術期リハビリテーションの取り組みにおける一症例

1) 新潟大学医歯学総合病院 医療技術部リハビリテーション部門、2) 新潟大学医歯学総合病院 心臓血管外科、3) 新潟大学医歯学総合病院 リハビリテーション科

○葦澤 紀文¹⁾、堂前 圭太郎²⁾、清野 健二¹⁾、岩崎 円¹⁾、坂野 周平¹⁾、加藤 諄一¹⁾、上路 拓美¹⁾、木村 慎二³⁾

P-23 ハイフローセラピー使用の有無と心臓血管外科患者の身体機能変化と在院日数の特徴

1) 新古賀病院 リハビリテーション課、2) 新古賀病院 心臓血管外科

○若菜 理¹⁾、古市 和希¹⁾、今永 匠¹⁾、古賀 清和²⁾、大坪 諭²⁾、吉戒 勝²⁾

P-24 慢性血栓塞栓性肺高血圧症（CTEPH）に対する肺動脈血栓内膜摘除術（PEA）による死亡の有無とmPAP・6MWDの関連

1) 岐阜県総合医療センター 呼吸サポートセンター、2) 総合大雄会病院 リハビリテーション科、3) 大阪健康管理センター 心臓血管外科、4) 総合大雄会病院 循環器内科

○石原 敦司^{1,2)}、安藤 太三³⁾、森下 健太郎¹⁾、前口 大海²⁾、内田 喜大²⁾、西川 佳典⁴⁾、谷 信彦⁴⁾、林 隆三⁴⁾、海川 和幸⁴⁾、寺沢 彰浩⁴⁾

P-25 肺がん周術期患者における身体活動量の回復過程の調査～強度別身体活動時間に着目して～

茨城県立中央病院 リハビリテーション科

○篠原 悠、石井 伸尚、葛原 まなみ、田口 真希茨

大会役員

学 術 大 会 長	瀬 崎 学（済生会新潟県央基幹病院）
副 学 術 大 会 長	堀 江 淳（京都橘大学）
準 備 委 員 長	椿 淳 裕（新潟医療福祉大学）
顧 問 ・ 相 談 役	関 川 清 一（広島大学）
準 備 委 員	
事 務 局 長	高 橋 祐 介（下越病院）
運 営 局 長	中 村 可 愛（新潟臨港病院）
総 務 ・ 渉 外 部 門	葦 澤 紀 文（新潟大学医歯学総合病院）
財 務 部 門	長谷川 雄 司（西新潟中央病院）
広 報 部 門	木 賀 洋（新潟県立中央病院）
演 題 ／ 査 読 部 門	今 井 遼 太（魚沼基幹病院）
プログラム抄録集作成部門	田 宮 創（新潟医療福祉大学）
会 場 受 付 部 門	長谷川 俊 輔（厚生連あがの市民病院）

第10回日本呼吸理学療法学会学術大会

学術大会事務局長 高 橋 祐 介

学術大会事務局

〒956-0814 新潟県新潟市秋葉区東金沢1459番地 1

社会医療法人新潟勤労者医療協会 下越病院 リハビリテーション科

【URL】 <https://www.niicon.jp/jsrpt2024/>

【E-mail】 congress10th@jsrpt.jspt.or.jp

協賛協力ご芳名（敬称略 五十音順）

株式会社アステム

株式会社医学書院

株式会社ウィザップ

エア・ウォーター・メディカル株式会社

株式会社タクト・マシン・サービス

中外製薬株式会社

帝人ヘルスケア株式会社

新潟医療福祉大学大学院

新潟呼吸ケアフォーラム

バイオリサーチセンター株式会社

フクダ電子株式会社

ミナト医科学株式会社

株式会社羊土社

株式会社よしや

圧倒的な臨床力・指導力をもつ第一人者による、渾身の書き下ろし！
厳選レクチャー30題で呼吸理学療法に自信がつく！

理学療法NAVI

この30題で 呼吸理学療法に強くなる

高橋 仁美 著



本書の内容（一部）

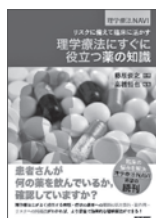
- ◆スパイロメータから換気障害を判定し、呼吸障害の程度を予測しよう
- ◆フローボリューム曲線から疾患を考えよう
- ◆胸部X線写真から無気肺か胸水かを判断しよう
- ◆頸静脈の怒張から病態を考えよう
- ◆聴診の際の背側下肺野の“パリパリ”音の正体は？
- ◆打診で下側肺障害の障害領域を推測できる？
- ◆動脈血液ガス分析のデータから病態を推測しよう
- ◆COPDの急性増悪、酸素療法で改善が今一つ、どうする？
- ◆横隔膜呼吸ができない患者、どうすればいい？
- ◆労作時の息切れの症状が強いCOPD患者、運動療法は行っていない？

A5 頁252 2017年 [ISBN 978-4-260-03261-2]
定価：3,300円（本体3,000円＋税10%）



理学療法的大海に漕ぎ出す若きフロンティアのための水先案内人
理学療法NAVIシリーズ

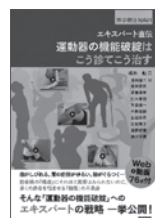
大好評
刊行中



リスクに備えて臨床に活かす
理学療法にすぐに役立つ
薬の知識

監修 藤原 俊之 編集 高橋 哲也

A5 2021年 頁352 [ISBN 978-4-260-04341-0]
定価：3,740円（本体3,400円＋税10%）



エキスパート直伝
運動器の機能破綻は
こう診てこう治す [Web動画付]

編 福井 勉

B5 2019年 頁184 [ISBN 978-4-260-03835-5]
定価：3,850円（本体3,500円＋税10%）



ここに注目！
実践、リスク管理読本

編 高橋 哲也

A5 2018年 頁368 [ISBN 978-4-260-03623-8]
定価：3,740円（本体3,400円＋税10%）



臨床の“疑問”を“研究”に変える
臨床研究 first stage

編 網本 和 / 高倉 保幸

A5 2017年 頁296 [ISBN 978-4-260-03227-8]
定価：3,300円（本体3,000円＋税10%）



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <https://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売・PR部] TEL: 03-3817-5650 FAX: 03-3815-7804 E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp



株式会社タクト・マシン・サービス

台数限定特別価格

Canon

A3カラーレーザープリンター



本体寸法WxDxH 545 × 591 × 361mm、約34kg

注文型番：LBP841CS

Satera

LASER BEAM PRINTER

カラー・モノクロ同速26枚／分と省エネ性。
コストパフォーマンスに優れたA3カラーモデル。

LBP841C

ランニングコスト

カラー
12.6円

モノクロ
3.2円

カラー
26枚/分

モノクロ
26枚/分

両面標準

標準給紙
350枚

限定5台

本体価格

50,000

税別価格
円



ココが 一体型トナーカートリッジ

ドラムとトナー部分をカートリッジで一体化。消耗品点数を少なくすることで、メンテナンスの手間を省くとともに、在庫管理の負担も軽減します。また、装着部にはガイドを設置し、カートリッジをガイドに乗せてスライドさせるだけの簡単操作でトナー交換が行えます。

LBP841Cは



消耗品数は
5点
手間が少なく
交換もカンタン!



ココが カラー・モノクロ同速26枚／分

カラーもモノクロも毎分26枚※の高速プリントを実現し、さらに毎分20ページ※の両面印刷機能を標準装備。テキスト文書はモノクロで、グラフや画像のある文書はカラーで、社内資料は低コストの両面印刷で。さまざまなニーズにスピーディーな出力で応え、業務の効率化に貢献します。

※A4、普通紙、カセット給紙、同一データを連続印刷した場合の速度です。

※搬入設置・旧機器の処分には別途費用発生します。詳しくは担当営業までご確認ください。

- LBP841Cの無償保証期間は12か月です。
- 同梱品のトナーカートリッジはスターターとなり、カラー（YMC）は約3,500ページ、ブラックは約2,900ページ印刷可能です。

お求め・ご相談は下記まで



株式会社タクト・マシン・サービス
信頼のサポート&サービス

TEL: 080-4814-2647

営業担当：北原 m-kitahara@tkt.co.jp



病気だけでなく、
創薬の常識にも立ち向かう。
未知のイノベーションで、
病気より先に未来へ行く。
できそうもない薬でなければ
私たちが生み出す意味はない。

創造で、想像を超える。



CHUGAI

中外製薬

Roche ロシュグループ

多機能記録解析装置PowerLab (LabChartソフトウェア)

30年以上、ライフサイエンス分野のデータ記録解析をサポートし続けてきたPowerLab (LabChart)。生体電位や呼吸流量などとの多パラメータの同時計測・解析に力を発揮します。

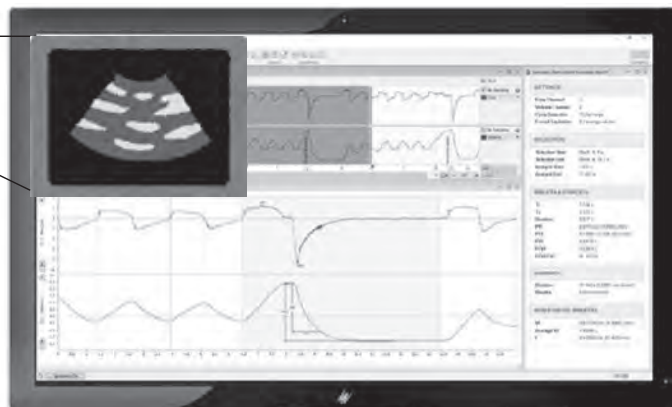
Windows 11 やMac OSの最新版に対応し、記録データはMATLABなどのソフトウェアで読み込むことができ、複雑な解析に關しても柔軟性がございます※詳しくはバイオリサーチセンター (株) HPより<https://www.brck.co.jp/>

Video Capture

モジュールソフトウェア (Win & Mac)



アドオンのソフトウェアで動画と生理パラメータを同期させることができます。



例えば、エコー画像 (動画) を同期してEMGと同時計測など



呼吸・生体電位計測



呼吸計測、EMG、温度など様々なパラメータに対応した計測アンプをラインナップしております

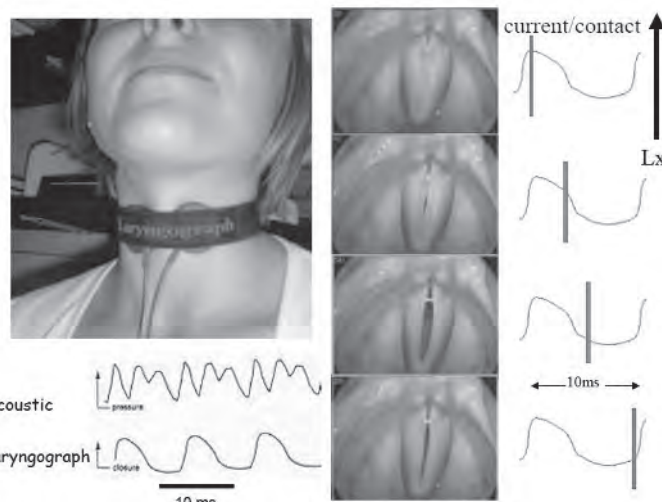
嚥下・発声

エレクトログロツグラフ (EGG) 機器です。Laryngograph社製

声帯接触による首の抵抗地の変動は、被験者により変わりますので、接触面積の絶対値ではなく、被験者における変動パターンを得ることになります。

嚥下のタイミングを計測する際に利用されています！

上記、PowerLab等への信号入力が可能です。



研究でお困りなことあれば下記までお気軽にお申し付けください！！

NIIGATA UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

次代の保健・医療・
福祉・スポーツ分野を支える
高度専門職業人、
教育研究者を養成します



大学院 医療福祉学 研究科

社会人・遠方の方が学びやすい、各種サポート制度があります。(メディア授業多数、平日夜間・土曜開講、長期履修生制度など)

学士の学位がない方でも個別の審査により受験の機会を認める制度があります。

修士課程

保健学専攻

理学療法学分野／作業療法学分野／言語聴覚学分野／義肢装具自立支援学分野／医療技術安全管理学分野／視覚科学分野救急救命学分野／放射線情報学分野／自然人類学分野 *2023年4月新設
修業年限：2年 学位：修士（保健学） 募集人員：30名

健康科学専攻

健康栄養学分野／健康スポーツ学分野／看護学分野
学位：健康栄養学分野、健康スポーツ学分野 » 修士（健康科学）
看護学分野 » 修士（看護学）
修業年限：2年 募集人員：16名

社会福祉学専攻

保健医療福祉政策・計画・運営分野／保健医療福祉マネジメント学分野
修業年限：2年 学位：修士（社会福祉学） 募集人員：5名

医療情報・ 経営管理学専攻

医療情報・経営管理学分野
修業年限：2年 学位：修士（医療情報・経営管理学） 募集人員：4名

博士後期課程

医療福祉学専攻

修業年限：3年 学位：博士（保健学） 募集人員：20名



〈修士課程〉保健学専攻／健康科学専攻／社会福祉学専攻／医療情報・経営管理学専攻
〈博士後期課程〉医療福祉学専攻

〒950-3198 新潟市北区島見町1398番地 Tel 025-257-4500 Fax 025-257-4505

<https://www.nuhw.ac.jp/grad/>

詳しくは
こちら



計測機の



株式
会社

よしや



顕微鏡・測量器機・切断機・研磨機やオフィス用品など様々な物をお取り扱いしております。気になるものやお探し物がございましたら、お気軽にご相談ください。



〒950-0962 新潟市中央区出来島2丁目12-12

TEL (025) 284-2431

FAX (025) 284-2015

E-mail: yoshiyaa@d5.dion.ne.jp



してみませんか?

「本」に

それ、



自慢の作品、
温めているアイデア、
大切な思い出……

上製本でもデジタルでも、本ならおまかせください



株式会社 ウィザップ
WITH UP CO., LTD.

<https://www.sksp.co.jp>



【本社】〒950-0963 新潟市中央区南出来島2-1-25 【東京支店】〒110-0016 東京都台東区台東4丁目22番8号 ワタナベビル2階
TEL.025-285-3311 FAX.025-285-5656 TEL. 03-6284-2560 FAX. 03-6284-2561